プレスリリース　　2014 年 10 月

＋Care Project
「病気にならないまち／病気になっても安心して暮らせるまち」
健康をテーマにした、住民主体の新しいまちづくり（川崎市中原区）

NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント

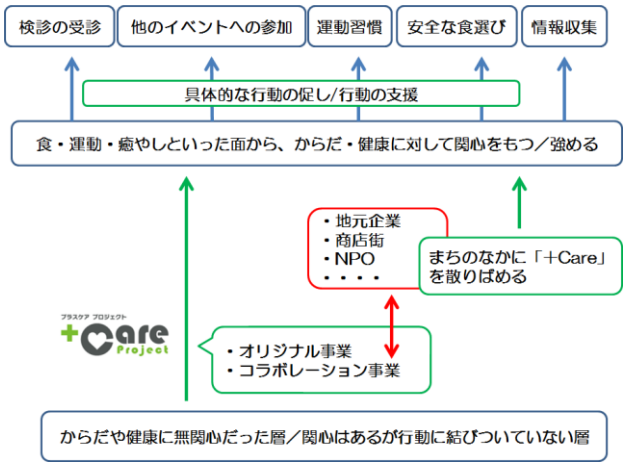
2014 年 10 月 25 日に武蔵小杉（川崎市中原区）で開催される「コスギフェスタ」でのブース出展を皮切りに、NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントは、**「病気にならないまち／病気になっても安心して暮らせるまち」**をテーマにまちづくりを支援する「＋Care Project」を、武蔵小杉を中心とする川崎市中原区で展開します。

1. 目的、背景

高齢社会を迎え、日本の介護・医療は大きな課題に直面しています。そしてシニア世代だけではなく若い世代も、様々な課題に追われ、自らの健康を見つめる機会は決して多くありません。

21 世紀の医療は、医者や病院に全てお任せ、という時代から、自ら考え自分で自分の体を守り、地域全体で支え合う時代になっていくと言われています。

現在、再開発で注目が集まっている武蔵小杉地域を含む川崎市中原区は、今でこそ若い世代の多い町ですが、今後 10 年を見すえて、どのように自分たちの健康を守り、地域を育て、そして医療と関わっていくか、ひとりひとりが「自分事として」考えていくことが求められています。そういった中、NPO 法人、企業、医療者、住民が協力して、自分たちの健康・生活を自分たちで守るためのプロジェクトが立ち上がりました。



それが「＋Care Project」。**「日常に Care をプラスする」をコンセプト**に、イベントやまちの方々とのコラボレーションなどを通じて、まちのなかに「＋Care」を散りばめていくことで、健康やカラダに対する関心を高め（ヘルスリテラシーを高め）、武蔵小杉を中心としたこのまちを**「病気にならないまち/病気になっても安心して暮らせるまち」**にしていくことを目指します。

今後、「＋Care project」として、「食」「運動」「癒やし」をテーマとした、

① 自分たちで企画し作り上げるオリジナル「＋Care」ワークショップ（オリジナル事業）

② 地域の団体・店が行っているイベントや活動にコラボレーションしていく（コラボレーション事業）

という 2 つの事業を中心に展開していきます。コラボレーション事業は、既に地域で行われているイベントや、営業中の店舗や企業などとコラボレーションして、これまでは健康と全く関係がなかったものに「健康関連事業」の色彩を加えるものです。

2. 「コスギフェスタ」でのブース出展から本格スタート

10 月 25 日に武蔵小杉駅周辺で行われる、数万人が参加する武蔵小杉のお祭り「コスギフェスタ」において、TEAM 運動ブースでは、オムロンヘルスケアご提供の「ウォークスキャン」を用いた姿勢計測や、中原区保健センターの協力を得て身体測定や肌湿度測定などを行います。TEAM 食ブースでは、具だくさん健康味噌汁の試食を行います。コスギフェスタでのプロモーションを皮切りに、今後様々なオリジナル事業やコラボレーション事業を

展開していく予定です。

3.「こすぎ美人教室」や、「こすぎ発酵倶楽部」などのイベント（オリジナル事業）

11 月から、「美＋Care＝内面から健康的に美しく」、をテーマに「運動」「食」「睡眠」から、生活を見つめなおす「こすぎ美人教室」を開催します。講師には、モデルや芸能人のウォーキング指導をしている「eikowalk」の谷英子先生や、オムロンヘルスケアで「ねむり時間計」のプロモーションに関わる西口恵先生などそうそうたる方々をお招きしています。また、2015 年 1 月以降に展開予定の「こすぎ発酵倶楽部」でも、発酵食の健康効果を見直し、体感して頂くために味噌造りや塩麹料理教室などの企画を予定中です。その他にも様々な企画を計画しており、詳細は別添のパンフレットをご参照下さい。

4.地元の商店街などとコラボレーションした企画（コラボレーション事業）

歩いてもらう習慣をつけるため、歩行計や活動量計を装着して条件を満たした方は、商店街の店舗でサービスを受けられる「WALK&GET」（10 月末から開催予定・資料参照）や、地元商店街のお祭りにコラボレーションした「＋健康相談」などの企画を展開予定です。地元の商店と協力することで、より多くの方に「＋Care Project」のコンセプトを知ってもらい「健康を自分事としてもらう」のが目的です。

5.健康＋まちづくり：武蔵小杉は住民主体モデル／健康＝おしゃれの価値観を創造

健康に関する事業、というと、これまでのものは基本的には危機感をあおったり、説教じみているセミナー・イベントなどが多く、「おしゃれ」「ワクワク」といったイメージとは離れていた印象があります。これまで関心が薄かった層への意識付けを行うためには、参加することが楽しい、かっこいい、もしくは意識しないうちに健康への意識付けが行われている、といったものであることが望ましいと考えます（実際、危機感をあおるだけの健康教育は、一時的な効果はあるものの対象者のモチベーションが持続しにくい、といわれています）。その意味ではオリジナル事業・コラボレーション事業とも、既存のものとは一線を画した、新しい視点での事業展開が求められます。現在、長岡市における株式会社タニタによる健康＋まちづくりの事業が始まっていたり、行政主導での取り組みは散見しますが、武蔵小杉のように住民主体で、健康＝おしゃれの価値観を意識して、健康＋まちづくりを行っていく例は珍しく、全国的なモデルとなる可能性があります。

【特定非営利活動法人（NPO 法人）小杉駅周辺エリアマネジメント概要】

小杉駅周辺地区では複数の開発事業が進行していますが、この地区は元々工場跡地などで居住者がほとんどいなかったため、暮らしに密着した課題への対応が求められています。また、まちの魅力、まちの価値を将来にわたって保全・向上させていくことも大切です。当法人はこうした課題に対応するために住民の方々が自らスタッフとなり、地域住民や市民活動団体、企業等と横断的な連携を図り、武蔵小杉のまちの維持・発展をささえる仕組みづくりや活動に取り組んでいます。

本件に関するお問い合わせ先
NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメント事務局
〒211-0012　川崎市中原区中丸子 112 番地 3 リエトコート武蔵小杉　リエトプラザⅠ
電話：044-433-9180　FAX：044-431-3135　e-mail: info@musashikosugi.or.jp
（プロジェクトリーダー：川崎市立井田病院　かわさき総合ケアセンター　医師　西智弘　TEL：044-766-2188
e-mail: tonishi0610@hotmail.co.jp）